

## 金沢工業会全国総会を金沢大学にて開催

金沢工業会全国総会（通常総会）が平成26年6月14日（土）15時30分から金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホールにおいて開催されました。当日の未明には大雨注意報が出されていて朝方には大雨が降っていましたが、お昼頃には雨も上がり、青空が見えてきました。平成24年5月12日に開催された金沢工業会理事会・評議員会において、「4年に1回の割合で全国総会を本部主催により理事会・評議員会と合わせて金沢で開催する」ことの決議により開催された次第です。大昔のことはわかりませんが、ここ40年間は金沢大学において全国総会を開催したことがなく、近年の理事会にとっては初めてのことでした。例年の全国総会は各支部で開催される支部総会と合わせて開催されることが常でした。全国総会を金沢大学で開催することにより、これを機に卒業生の皆様が大学を訪れる機会を提供できる、ということが主な理由です。

この全国総会に先立ち、13時から理事会・評議員会が開催され、平成26～27年度の金沢工業会会長に小畑外嗣氏、副会長に理工研究域長の加納重義先生が選任されました。また、平成25年度の事業と会計決算、及び、平成26年度の事業計画と予算案について審議され、承認されました。理事会・評議員会の出席者は約80名でした。15時30分からの全国総会においては金沢工業会会長の小畑氏の挨拶に続いて理事会・評議員会における審議事項が会員に報告されました。総会からは新たに出席者が20名ほど加わりました。

総会の後、講演会が開催されました。講師は第9代金沢大学長の林勇二郎先生にお頼みしました。林先生は1999年9月から2008年3月まで学長の職にあり、その間に金沢大学が国立大学法人となって大学の改革に努められました。現在は国立高等専門学校特別顧問に就任されておられます。「社会の持続的発展に向けて—これからの工学への期待—」という演題で社会の発展と連動した大学の改革などについて講演されました。

場所を自然研本館の学生食堂に移し、懇親会を開催しました。金沢大学の近況を交えた金沢工業会副会長の加納先生の挨拶で始まり、会員同士の挨拶や情報交換が盛んに行われました。最後は北海道支部長の紺野寛氏の音頭による三三七拍子で中締めとなりました。

（記 岩田）



全国総会の壇上の様子



林勇二郎先生の講演

理事会・評議員会及び全国総会の席上で配付されました資料（25年度事業報告、25年度会計報告、26年度事業計画と26年度予算）は[こちら](#)をご覧ください。ただし、金沢工業会誌（平成26年8月号、No. 175）PDF版のパスワードが必要です（パスワードは会誌No. 175に掲載してあります）。